

# 貯水する

## 安定した用水供給

塩田、管又の高調整池は、荒川の水量が豊富な時に取水した用水を一時的に貯えておき、荒川からの取水ができない時期であっても、水不足の心配をすることなく、かんがい用水の安定確保、安定供給をするための施設です。河川からの取水は、その河川自体の流量が一定量以上の時だけしか取水が出来ないので、両施設の貯水機能は「安心営農」に重要な役割を果たしています。

「塩田調整池」と「管又調整池」の貯水量は、合わせて約200万 $m^3$ で、これは東京ドームの約2倍量に相当します。

## 塩田調整池

### 芳那の水晶湖

塩田調整池の貯水量は158万 $m^3$ です。

塩田調整池は、建設地点近傍の土や岩石を利用して造る傾斜濾水ゾーン型フィルダムです。各ゾーンは中心から水を通さないシルト、粘土質に砂礫を混ぜた不透水性のコアゾーン(ゾーンⅠ)、上流側に半透水性の砂礫質ゾーン(ゾーンⅡ)、下流側にも半透水性の軟岩質(砂岩、凝灰岩、泥岩)ゾーン(ゾーンⅢ)また両側に保護層としてのロックゾーン(ゾーンⅣ)の各ゾーンが締め固められてダム全体の安定を保っています。

### ●塩田調整池諸元

位置	栃木県芳賀郡市貝町大字塩田	流域面積	0.25 $km^2$
河川名	那珂川水系塩田川左支沢	総貯水量	1,580千 $m^3$
基礎地盤	砂岩、凝灰岩、泥岩	有効貯水量	1,577千 $m^3$
形式	傾斜濾水ゾーン型フィルダム	満水面積	11.7ha
堤高	29m	利用水深	22.8m
堤長	460m	設計洪水量	15.0 $m^3/s$
堤長幅	8m	洪水吐	直線シュート式 L=185.5m
法面勾配	上流1:3.0 下流1:2.4	取水施設	取水量1.7 $m^3/s$ 取水形式斜槽(5孔)
堤体積	544千 $m^3$	常時満水深	TP132.0m
外周	1.4km		

### ●堤体標準断面図

